

8 消防費

1 選定事業数 5 事業

2 事業費合計 2億4,470 万円

3 決算状況（比較増減額）

本年度	2億7,299 万円
前年度	2億8,806 万円
比較	△ 1,507 万円

消防費計上科目	
1	消防費
①	消防費
②	水防費
③	防災対策費

敦賀・美方消防組合 負担金	2億2,587 万円
--------------------------	-------------------

【消防費】

担当部署：総務課

敦賀市、美浜町、旧三方町で組織する消防組合の運営にかかる経費の一部を負担しました。
これにより、防災・消火活動や消防団活動、救急活動等迅速な対応体制の整備に寄与するとともに、町民の生命と財産を守る体制の強化を図りました。

【新たに整備した車両・施設】

- ・美浜消防団ポンプ車両（興道寺）

負担割合 美浜町 17.1 %
敦賀市 68.3 %
若狭町 14.3 %（旧三方町分）

《主な経費》

消防組合負担金 2億2,587 万円

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金） 1億0,000 万円
繰入金（災害に強いまちづくり基金） 462 万円
一般財源（税等） 1億2,125 万円

消防施設整備事業	700 万円
-----------------	---------------

【消防費】

担当部署：総務課

美浜消防団のポンプ車導入に伴い、消防車両及び消防器具を格納する施設の整備を行った地元集落に対し、その工事費の一部を補助しました。
施設整備により、地元消防団の活動や防災、消火活動等の拠点として、地元住民の生命と財産を守る体制の強化を図りました。

- ・興道寺区消防器具庫改築 1棟

《主な経費》

消防施設整備費補助 700 万円

《主な財源》

繰入金（災害に強いまちづくり事業基金） 700 万円

コミュニティ助成事業	200 万円
-------------------	---------------

【消防費】 担当部署：総務課

自主防災組織の設立に伴う災害時の活動に必要な資機材整備に対し、コミュニティ助成事業により助成しました。

河原市区 200万円
・除雪機、発電機、水中ポンプ等

《主な経費》

コミュニティ助成事業補助 200 万円

《主な財源》

その他（宝くじ助成事業） 200 万円

地域防災力向上支援事業	687 万円
--------------------	---------------

【消防費】 担当部署：総務課

東日本大震災の発生から津波対策について強化を図るとともに、各種災害による甚大な被害、地域に与える影響を踏まえ、災害対策の必要性から、地域防災力向上支援事業を実施しました。

- ・津波ハザードマップ作成 4,000部(各戸配布)
- ・海拔表示板の設置 町内55箇所
- ・防災行政無線半固定局設置 1局(総合体育館)

《主な経費》

津波ハザードマップ作成 567 万円
 海拔表示板設置 31 万円
 防災行政無線半固定局設置 89 万円

《主な財源》

県補助金 342 万円
 一般財源（税等） 344 万円

地域防災計画見直し事業 (H24繰越)	296 万円
----------------------------	---------------

【消防費】 担当部署：総務課

東日本大震災の発生を踏まえて、平成23年12月に国の防災基本計画の修正（津波災害対策編の新設等地震・津波対策の強化）が行われ、また、福井県が独自に実施した津波シュミレーションの結果が平成24年9月に公表されたことを踏まえ、津波対策について強化を図るとともに、県の防災計画との整合を図るための見直しを実施しました。

《主な経費》

地域防災計画見直し業務委託料 296 万円

《主な財源》

その他（災害に強いまちづくり事業基金） 295 万円
 一般財源（税等） 1 万円

9 教育費

1 選定事業数 35 事業

2 事業費合計 8億1,177万円

3 決算状況（比較増減額）

本年度	11億9,597万円
前年度	23億3,100万円
比較	△11億3,503万円

教育費計上科目

1	教育総務費
	① 教育委員会費
	② 事務局費
	③ 義務教育振興費
	④ 同和教育推進費
2	小学校費
	① 学校管理費
	② 教育振興費
3	中学校費
	① 学校管理費
	② 教育振興費
4	社会教育費
	① 社会教育総務費
	② 文化財保護費
	③ 公民館管理運営費
	④ 図書館費
5	保健体育費
	① 保健体育総務費
	② 体育施設管理費
	③ 学校給食費

高等学校等通学費助成事業

152 万円

【教育総務費】

担当部署：学校教育課

高等学校等に就学する生徒で公共交通機関を利用し通学している経費の一部を助成し、保護者の負担を軽減しました。

（実績） 利用者人数 延 165人

《主な経費》

定期助成 152 万円

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金） 110 万円
一般財源（税等） 42 万円

エネルギー環境教育推進事業

132 万円

【教育総務費】

担当部署：学校教育課

小中学校の総合的な学習の時間を主に利用して、環境教育を通してエネルギーについて学習していくために、推進委員会が中心となり、教員自らも研修していくためのセミナー等を開催しました。

エネルギー環境教育推進委員会の開催 5 回
エネルギー環境教育セミナー 参加者 92 名
エネルギー環境教育研究会 参加者 20 名
エネルギー環境教育学会全国大会 参加者 7 名

《主な経費》

エネルギー環境教育支援員賃金 73 万円
推進員旅費 48 万円

《主な財源》

県補助金（広報・調査等交付金） 56 万円
一般財源（税等） 76 万円

小学校空調設備整備事業	1億1,331 万円
--------------------	-------------------

【小学校費】 担当部署： 学校教育課

児童の学習環境の改善を図るため、美浜南小学校と美浜東小学校に空調設備を整備しました。

○美浜南小学校（普通教室、特別教室、職員室等）
空調設備機器 25台

○美浜東小学校（普通教室、特別教室、職員室等）
空調設備機器 27台

《主な経費》

美浜南小学校空調設備設置工事管理業務	252	万円
美浜東小学校空調設備設置工事管理業務	263	万円
美浜南小学校空調設備設置工事	4,463	万円
美浜東小学校空調設備設置工事	6,290	万円

《主な財源》

県補助金（学校施設環境改善交付金）	3,793	万円
地方債	4,090	万円
一般財源（税等）	3,448	万円

英語活動推進事業	429 万円
-----------------	---------------

【小学校費】 担当部署： 学校教育課

小学校の英語活動推進のため、外国人講師1名が各学校を巡回し英語活動授業の教員補助にあたりました。

併せて教員の資質向上のための研修会も開催しました。

○英語授業 162日 延520時間

○小学校英語活動教員研修会 1回

《主な経費》

外国人講師派遣業務委託料	429	万円
--------------	-----	----

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金）	400	万円
一般財源（税等）	29	万円

小学校施設改修事業	2,579 万円
------------------	-----------------

【小学校費】 担当部署： 学校教育課

小学校施設の改修として、弥美小学校体育館の屋上防水の改修、美浜東小学校の配管布設替え・進入路の勾配の修正、美浜東小学校プール前の駐車場の舗装を実施しました。

○弥美小学校
体育館屋上防水 A=1,426㎡

○美浜東小学校
配水管敷設 L=114.5m
スロープ改修 A=323㎡
プール前駐車場舗装 A=586㎡

《主な経費》

弥美小学校体育館屋上防水改修工事	1,122	万円
美浜東小学校校地整備工事	1,019	万円
美浜東小学校配管布設替工事	239	万円

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金）	990	万円
基金繰入金（公共施設維持補修）	1,410	万円
一般財源（税等）	179	万円

学校プール管理費	345 万円
-----------------	---------------

【中学校費】 担当部署： 学校教育課

小中学校、保育園の水泳教室の実施、夏休み期間中の一般開放の開催及びアクアビクス等の活動を実施し児童、生徒、園児及び町民の方の利用を図りました。

＜利用実績＞

小中学校	23日間	延べ1,377人
一般開放	9日間	延べ 154人
保育園	10日間	延べ 304人
水泳教室他	10日間	延べ 278人

《主な経費》

施設維持管理・保守委託料	124	万円
光熱水費	151	万円
修繕料	24	万円

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金）	95	万円
一般財源（税等）	250	万円

放課後児童クラブ事業	788 万円
-------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：学校教育課

保護者が就労または疾病その他の事由により昼間保育をする保護者がいない小学校1年から3年生までの児童を放課後児童クラブで預かりました。

- 1・2・3学期 18人
- 夏・冬・春休み 57人

《主な経費》

指導者賃金	674 万円
食糧費（おやつ代）	30 万円
送迎タクシー代	42 万円

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金）	420 万円
その他（保護者負担金）	175 万円
その他（傷害保険料負担金）	6 万円
一般財源（税等）	188 万円

みはまナビフェス開催事業	150 万円
---------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

みはまナビフェス2013として、町の農林水産団体、商工観光団体、文化活動団体及び福祉活動団体が一堂に会し、団体相互又は町民と町外の来場者との交流を通して町を活性化することを目的に開催しました。また、それぞれが有する知識、技能、情報などを活かしながら、ともに「学び合う」という生涯学習の理念のもと、各団体の自主性を高めながら、生き生きと社会活動をする人を育む（活動人口を増やす）ための場や機会を提供することができました。

（開催日） 11月2日（土）～11月3日（日）
（内容） 展示・ステージ発表
コンサート
体験コーナー ほか

《主な経費》

みはまナビフェス運営費補助金	150 万円
----------------	--------

《主な財源》

一般財源（税等）	150 万円
----------	--------

町制60周年記念事業（文化事業関係）	172 万円
---------------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

町制60周年を記念し、イベントを開催しました。

- ① 三ツ石潤司おしゃべりコンサート
日時：2月11日（火・祝） 15:30開演
主催：美浜町・美浜町教育委員会
実施主体：コンサート実行委員会
来場者：468人
- ② 壬生狂言
日時：2月23日（日） 13:00開演
主催：河原市壬生狂言実行委員会
来場者：429人

《主な経費》

チラシ等印刷製本費	26 万円
コンサート業務委託料	40 万円
河原市区壬生狂言事業補助金	40 万円

《主な財源》

チケット収入	63 万円
一般財源（税等）	109 万円

人権教育推進事業	879 万円
-----------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

美浜町人権尊重啓発協議会を中心に、人権に関する講演会・学習会等を開催し、広く町民の人権意識の向上を図りました。

- ・町民人権講座（年6回開催） 参加者 957人
- ・広報ふれあいの発刊（年2回）
- ・各区各種団体学習会
- ・人権のつどい：12月7日（土）参加者 168人
- ・人権小部会 7部会（42回）

《主な経費》

人権尊重啓発協議会事業補助金	370 万円
市町派遣社会教育主事給与負担金	279 万円
人権啓発物品等消耗品費	139 万円

《主な財源》

県補助金（人権教育推進補助金）	300 万円
一般財源（税等）	579 万円

人権教育指導研修委託事業	347 万円
---------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

人権教育に関する指導者研修会を実施しました。
また、人権教育用の研修資料・ビデオを購入・作成し、社会教育における人権に関する学習活動を推進することにより、人権に関する知識や意識の向上を図りました。

- ・集落研修 19集落
- ・団体研修 7回
- ・啓発資料 1回発行
- ・企業等学習会 16回

《主な経費》

人権啓発物品等消耗品費	64	万円
複写機保守料	65	万円
講師派遣業務委託料	69	万円
意識調査業務委託料	49	万円

《主な財源》

県委託金（人権教育指導委託金）	346	万円
-----------------	-----	----

コミュニティ助成事業	1,500 万円
-------------------	-----------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

佐田区に対して、コミュニティセンターの新築に要する費用を助成しました。

＜概要＞

- ・構造 鉄骨造かわらぶき平家建
- ・床面積 331.99㎡
- ・完成日 平成26年1月21日

《主な経費》

助成事業補助金	1,500	万円
---------	-------	----

《主な財源》

諸収入（コミュニティ助成事業助成金）	1,500	万円
--------------------	-------	----

生涯学習センター管理	2,830 万円
-------------------	-----------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

生涯学習センターなびあすを、安全かつ快適に利用いただくため、各種設備の保守点検や修繕などの管理運営を行いました。

＜施設管理運営業務委託料＞

- ・常駐・機械警備業務
- ・環境衛生管理業務
- ・定期清掃管理業務
- ・電気設備保守点検業務
- ・消防用設備保守点検業務
- ・舞台機構保守点検業務
- ・舞台音響設備保守点検業務
- ・照明設備保守点検業務
- ・音響・照明委託業務

《主な経費》

光熱水費	1,029	万円
施設管理運営業務委託料	1,477	万円

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金）	2,096	万円
施設利用料	146	万円
一般財源（税等）	588	万円

生涯学習講座事業	144 万円
-----------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

生涯学習センターなびあすを使用して講座事業を展開し、住民の学習意欲の促進を図りました。

- ・なびあす定期講座 14講座 受講者 133人
- ・生涯学習教室 8教室 25回 受講者 79人
- ・はあとふる大学 受講者 166人
- ・公民館だより（なびあす通信）月1回配布
- ・家庭教育学級 7回 受講者 309人
- ・高齢者巡回教室 2回 受講者 52人

《主な経費》

生涯学習講座等講師謝礼	109	万円
バス借上料	24	万円

《主な財源》

生涯学習講座受講料	14	万円
一般財源（税等）	130	万円

なびあす文化事業	809 万円
-----------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：生涯学習課

なびあす運営基本方針である「感動の提供」、「人と文化意識の育成」、「施設の魅力と新しい文化の発信」に基づき、なびあす文化事業を開催しました。

①綾戸智恵コンサート「FOREVER YOUNG」
7月13日(土) 340人

②絵本deクラシック 8月10日(土) 130人
(芸術文化振興基金助成事業)

③宝くじふるさとワクワク劇場
(宝くじ文化公演事業) 11月23日(土) 332人

④清塚信也ピアノコンサート
12月15日(日) 279人

⑤ピアノふれあいDay(11回開催) 延151人
など

＜主な経費＞

報酬費(出演料)	72 万円
イベント委託料	613 万円

＜主な財源＞

市町振興協会交付金	250 万円
チケット収入	305 万円
地域の文化・芸術活動助成金	30 万円
一般財源(税等)	224 万円

国吉城址史跡調査及び公園整備事業	407 万円
-------------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：学校教育課

○国吉城址史跡公園等環境整備検討委員会の開催(1回)

○国吉城址史跡第14次調査(100㎡)の実施
山城本丸虎口から石垣や門礎石を確認

○国吉城歴史講座 6回開催 受講者17名
ボランティアガイド養成及び国吉城周知

○城山雑草木伐採(年4回)
国吉城址の遺跡保護、景観維持

＜主な経費＞

発掘調査等作業員賃金	324 万円
城山雑草木伐採委託料	37 万円
国吉城址史跡公園等環境整備検討委員会	9 万円
印刷製本費	2 万円

＜主な財源＞

国庫補助金(電源交付金)	315 万円
一般財源(税等)	92 万円

埋蔵文化財緊急調査事業	341 万円
--------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：学校教育課

○第15次調査(平成25年9～12月)
面積260㎡を調査し古代寺院の一端を確認

○興道寺廃寺等調査指導委員会の開催(1回)

○送電線鉄塔整備計画に伴い、平成26年1・2月に
駈倉山(かけくらやま)付城跡の試掘調査を実施

○原子力制圧道路建設計画に伴い、平成25年7月・8月に乙見(おとみ)古墳の試掘調査を実施

○興道寺廃寺など出土の鉄製遺物19点の保存処理業務を委託し、資料の保存を進めました。

＜主な経費＞

発掘調査等作業員賃金	252 万円
興道寺廃寺等調査指導委員会委員謝金	11 万円
発掘調査重機等借り上げ料	12 万円
出土品処理委託、雑木伐採委託	49 万円

＜主な財源＞

県補助金(国宝重要文化財等保存整備費)	127 万円
一般財源(税等)	214 万円

国吉城ガイダンス施設運営事業	498 万円
-----------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署：学校教育課

○国吉城と佐柿の町並みに関する展示や、展示解説及び城跡案内、ガイドブック、ブックレット等の販売。

○トピックス展及び企画展等を開催し、広く情報を発信

① 夏季トピックス展「幕末佐柿」

② 秋季企画展「国吉城ゆかりの戦国武将展」
②織田信長

③ 冬季トピックス展「明治佐柿」

○「田辺家文書」の古文書3点の複製作成

※平成25年度来館者数 4,067名

＜主な経費＞

若狭国吉城歴史資料館事務員賃金	138 万円
光熱水費	106 万円
古文書複製委託料	38 万円
定期清掃業務委託料	38 万円

＜主な財源＞

国庫補助金(電源交付金)	285 万円
その他(国吉城歴史資料館入館料)	14 万円
その他(ガイダンス施設ガイドブック代)	9 万円
一般財源(税等)	190 万円

歴史資料保存管理事業	137 万円
-------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署： 学校教育課

「わかさ美浜町誌」編纂時、また、その後に収集した古文書・写真・民具等の資料を整理・保存・展示（みはまナビフェス、関電ギャラリー展、なびあすギャラリー展）をしました。町誌に掲載ができなかった資料を活用した「美浜文化叢書」の刊行補助を行いました。

○みはまナビフェス（11月2日～3日）
○関電ギャラリー展（2月8日～16日）
○なびあすギャラリー展（2月23日～3月2日）

《主な経費》

非常勤職員賃金	28 万円
美浜文化叢書発行補助金	80 万円
資料封筒印刷、保存展示等消耗品	11 万円
デジタルカメラ等備品購入	18 万円

《主な財源》

その他（町誌販売収入）	4 万円
一般財源（税等）	133 万円

図書購入費	500 万円
--------------	---------------

【社会教育費】 担当部署： 生涯学習課

幅広い分野の資料を収集できるよう、新刊・リクエスト本を中心に購入しました。

・購入内容
一般書 2,532冊（郷土含む）
児童書 727冊
視聴覚資料 22点

・年度末蔵書数 47,548冊

《主な経費》

図書・視聴覚資料購入費	500 万円
-------------	--------

《主な財源》

一般財源（税等）	500 万円
----------	--------

図書館情報システム化事業	404 万円
---------------------	---------------

【社会教育費】 担当部署： 生涯学習課

・ 図書館システム機器運用により、図書の発注、蔵書管理、利用状況管理、利用者への情報提供、インターネットからの蔵書検索・予約等を行い、事務の効率化や利用者への迅速な情報提供等利便性の向上を図りました。

・ 非常勤職員1人を雇用し、郷土資料や寄贈資料の書誌データ作成及びその他の書誌データ入力を継続的に行なうことにより、適正な資料管理や多角的な検索が可能となりました。

・ 主な情報管理システム処理件数
年間貸出点数 74,900点
年間貸出人数 18,766人（団体含む）

《主な経費》

非常勤職員賃金	130 万円
情報管理システム保守料	88 万円
情報管理システム使用料	183 万円

《主な財源》

国庫補助金（電源立地交付金）	106 万円
一般財源（税等）	298 万円

町民レガッタ事業	193 万円
-----------------	---------------

【保健体育費】 担当部署： 生涯学習課

第26回美浜町民レガッタを10月19日・20日に開催しました。
参加者は各行政区や事業所から多数あり、地域の活性化に寄与しています。
特に、交流の部（町外者クルー）の参加が年々増加しており、交流人口の拡大につながっています。

＜参加数＞
・全体 236クルー（前回219クルー）
・うち交流の部 76クルー（前回66クルー）

《主な経費》

レガッタ賞品代	30 万円
レガッタ実行委員会補助金	10 万円
ナックル艇部品代等消耗品費	26 万円
参加者保険料	36 万円

《主な財源》

その他（海洋センター使用料）	95 万円
一般財源（税等）	98 万円

全国市町村 交流レガッタ事業	112 万円
---------------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

全国の漕艇場所在市町村の交流等を目的に、毎年会場を持ち回りで開催している全国市町村交流レガッタが、新潟県阿賀町で開催されました。この大会に町の代表クルーが参加し、町民相互の交流や情報の発信・交換を促進させることにより、町の活性化に貢献できました。

日時 平成25年9月28日(土)・29日(日)
 場所 新潟県阿賀町津川漕艇場
 出漕クルー
 成年男女 各1クルー、壮年男女 各1クルー、
 熟年男子 1クルー、議会 2クルー
 結果 成年男子1位、成年女子1位
 市町村別男女総合2位

《主な経費》

参加者旅費 58 万円
 参加者バス代 53 万円

《主な財源》

一般財源(税等) 112 万円

スポーツ拠点づくり推進 事業	400 万円
---------------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

第9回全国中学校選抜ボート大会を3月29日から31日までの間、県立久々子湖ボートコースにて開催しました。

全国において選抜された中学生男女96名が参加し、中学生ボートの春の大会として定着してきています。

＜参加者＞
 ・男子 48名
 ・女子 48名

《主な経費》

全中選抜ボート大会補助金 400 万円

《主な財源》

スポーツ拠点づくり推進事業助成金 400 万円

美浜・五木ひろしまラソン 開催事業	1,588 万円
------------------------------	-----------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

第25回美浜・五木ひろしまラソンを4月21日に開催しました。

美浜町の観光PRと交流人口の拡大を図ることにより、町の活性化に貢献できました。

(エントリー数) 4,806人
 (大会当日参加者) 4,408人
 (完走者数) 3,630人

《主な経費》

用器具等借上料 611 万円
 計時業務等委託料 535 万円
 会場整備工事費 184 万円
 プログラム印刷製本費 47 万円

《主な財源》

若狭路市町連携イベント支援事業補助金 1,500 万円
 一般財源(税等) 88 万円

スポーツ合宿助成事業	105 万円
-------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

各スポーツチームの合宿地として、町内の体育施設、旅館や民宿を広く利用していただき、美浜町が思い出の地として記憶されるよう、スポーツ合宿誘致のための助成を行いました。また、本年度から生涯学習センターなびあすを活用し、文化団体の合宿についても助成の対象としましたが、利用はありませんでした。

町内に宿泊するスポーツ・文化合宿者に対して助成することにより、交流人口の増大と地域経済の活性化に貢献できました。

・助成団体 15団体
 ・参加者 721人
 ・延宿泊者 1,533人(うち助成対象分1,048人)
 ・助成額 1人当たり1,000円
 (1団体上限額80,000円)

《主な経費》

スポーツ合宿イン美浜助成事業助成金 105 万円

《主な財源》

県補助金(教育旅行誘致促進事業) 46 万円
 一般財源(税等) 59 万円

町民総参加体力づくり 推進事業	159 万円
----------------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

町民の体力向上と健康増進のため、総合体育館において各種のスポーツ教室を開催しました。

<教室内容>

①一般向
ヨガ、ダンスエクササイズ「ZUMBA」、バランスボール、お手軽スポーツ、アクアビクス、硬式テニス、ソフトテニス、バドミントン

②高齢者向
リフレッシュ体操

③小学生向
スイミング、サッカー、ボート、カヌー、ソフトテニス、野球、卓球、ストリートダンス、陸上、タグラグビー、バドミントン

<<受講者数(実数)>> 566人

<<主な経費>>

スポーツ教室講師謝礼	149 万円
ニュースポーツ用品等消耗品費	5 万円

<<主な財源>>

スポーツ教室受講料	107 万円
一般財源(税等)	52 万円

ボートハウス建設用地 取得事業	1億7,546 万円
----------------------------	-------------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

著しく老朽化した県立ボートハウスの改築を県が実施することに伴い、新ボートハウスの建設用地を取得しました。

- ・取得面積 5,829㎡
- ・場 所 大藪・久々子地係
※B&G海洋センター南側のレイン
ボーマリン用地

<<主な経費>>

用地測量・不動産鑑定委託料	209 万円
建設用地購入費	7,635 万円
建設用地取得補償費	9,700 万円

<<主な財源>>

県補助金(地域の元気交付金)	5,900 万円
町債(保健体育施設整備債)	8,570 万円
一般財源(税等)	3,076 万円

体育センター管理事業	428 万円
-------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

体育センター(美浜町松原)を、安全かつ快適に利用いただくため、各種設備の保守点検や修繕などの管理運営を行いました。

<<主な経費>>

光熱水費	74 万円
施設管理業務委託料	263 万円
土地借上料	66 万円

<<主な財源>>

施設利用料	12 万円
一般財源(税等)	416 万円

ふれあい広場管理事業	310 万円
-------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

ふれあい広場(美浜町佐田)を、安全かつ快適に利用いただくため、各種設備の保守点検や修繕などの管理運営を行いました。

<<主な経費>>

光熱水費	136 万円
修繕料	68 万円
電気設備保守点検等手数料	19 万円
照明塔保守点検業務委託料	69 万円

<<主な財源>>

施設利用料	9 万円
一般財源(税等)	301 万円

総合運動公園管理事業	5,547 万円
-------------------	-----------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

総合運動公園（町民広場・総合体育館等）を、安全かつ快適に利用いただくため、各種設備の保守点検や修繕などの管理運営を行いました。

＜主な委託業務＞

- ・植栽管理
- ・芝生除草剤散布
- ・環境衛生管理
- ・常駐、機械警備
- ・定期清掃管理
- ・空調設備管理

＜主な経費＞

嘱託職員等報酬・賃金	521 万円
光熱水費	1,286 万円
修繕料	682 万円
各種設備点検等業務委託料	2,356 万円

＜主な財源＞

国庫補助金（電源交付金）	2,697 万円
施設利用料	422 万円
一般財源（税等）	2,428 万円

総合運動公園改修事業	143 万円
-------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

整備（平成元年）後20年以上が経過した町民広場について、老朽化が著しく各種競技の運営に支障を来しているため、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう改修に係る基本構想策定業務を行い、今後必要となる改修箇所の洗い出しを行いました。

＜主な経費＞

基本構想策定業務委託料	143 万円
-------------	--------

＜主な財源＞

一般財源（税等）	143 万円
----------	--------

ボート関係施設等管理運営事業	173 万円
-----------------------	---------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

町技であるボートを普及・定着、更には交流人口の増加を目的として、町民レガッタやボート体験を行うために、ボート（艇）やコースの維持管理を行いました。

＜主な経費＞

ナックル艇消耗品費	30 万円
ナックル艇修繕料	50 万円
町民レガッタ会場設営委託料	93 万円

＜主な財源＞

海洋センター使用料	95 万円
一般財源（税等）	78 万円

多目的屋内運動場整備事業	2億0,000 万円
---------------------	-------------------

【保健体育費】 担当部署：生涯学習課

多目的屋内運動施設を整備するために、電源立地地域対策交付金を原資として基金を造成しました。

＜主な経費＞

多目的屋内運動施設整備基金積立金	20,000 万円
------------------	-----------

＜主な財源＞

国庫補助金（電源交付金）	20,000 万円
--------------	-----------

給食センター管理運営事業**9,599** 万円

【保健体育費】

担当部署：学校教育課

町内各小中学校（8校・約810名）の学校給食について、センター一括方式で実施しています。

学校給食の食材料費（賄材料費）については、給食費負担金を充当しています。

調理・配送等業務については、平成24年度から業者委託し、実施しています。

給食センター施設及び厨房設備等の保守点検については、主に、学校の長期休業期間に、専門業者に委託し、実施しました。

《主な経費》

光熱水費	1,003	万円
洗浄室残菜処理システム修繕料他	251	万円
賄材料代	3,875	万円
学校給食調理・配送等業務委託料	3,382	万円

《主な財源》

国庫補助金（電源交付金）	2,572	万円
その他（給食費負担金）	3,887	万円
一般財源（税等）	3,140	万円

10 公債費

1 選定事業数 — 事業

2 事業費合計 — 万円

3 決算状況（比較増減額）

本年度	4億 431 万円
前年度	4億8,975 万円
比較	△ 8,544 万円

公債費計上科目

1 公債費

① 元金

② 利子

公債費	4億0,431 万円
------------	-------------------

【公債費】

担当部署：総務課

○ 前年度末現在高(A)	37億6,230万円
○ 25年度中償還額(B) (元金)	3億4,377万円
○ 25年度中発行額(C) ＜うち臨時財政対策債＞	6億9,285万円 4億1,585万円
○ 25年度末現在高 (A)-(B)+(C)	41億1,138万円

《主な経費》

元金	3億4,377 万円
利子（一時借入金利子含む）	6,054 万円

《主な財源》

その他（町営住宅使用料）	1,119 万円
一般財源（税等）	3億9,312 万円

11 災害復旧費

1 選定事業数 8 事業

2 事業費合計 1億6,510万円

3 決算状況（比較増減額）

本年度	1億6,510万円
前年度	920万円
比較	1億5,590万円

災害復旧費計上科目	
1	農林水産業施設災害復旧費
①	農地災害復旧費
②	農業用施設災害復旧費
③	農業振興費
④	林業用施設災害復旧費
⑤	治山施設災害復旧費
⑥	水産施設災害復旧費
2	公共土木施設災害復旧費
①	道路橋梁災害復旧費
②	河川災害復旧費

農地災害復旧事業	1,735 万円
-----------------	-----------------

【農林水産業施設 担当部署：土木建築課
災害復旧費】

本事業は、平成25年9月15～16日に発生した台風18号で被災した農地の復旧を行うことを目的とした事業です。

この事業の実施により、農地機能の回復を図りました。

- ・金山地区農地災害復旧工事
法面整形工 A=12㎡ 他19件
- ・農地災害測量・設計業務委託
災害査定対象箇所(13箇所)の測量設計業務

《主な経費》

工事請負費 1,281 万円
測量・設計業務委託料 454 万円

《主な財源》

国庫補助金（農地災害復旧事業） 776 万円
地元負担金 5 万円
一般財源（税等） 954 万円

農業用施設 災害復旧事業	597 万円
-------------------------	---------------

【農林水産業施設 担当課：農林水産課
災害復旧費】

台風18号により被災した有害獣侵入防止柵を復旧するため、被災箇所の測量設計業務を実施しました。

（被災地域）

丹生・菅浜・北田・佐田・太田・佐柿・大藪・
気山・野口・新庄地区

（被災箇所）

48ヶ所

《主な経費》

有害獣侵入防止柵復旧工事委託 597 万円

《主な財源》

一般財源（税等） 597 万円

農業用施設 災害復旧事業	6,673 万円
-------------------------	-----------------

【農林水産業施設 担当部署：土木建築課
災害復旧費】

平成25年9月15～16日に発生した台風18号で被災した農業用施設の復旧を行うことを目的とした事業です。
この事業の実施により、農業用施設の機能回復を図りました。

- ・ 金山地区農業用施設災害復旧工事
法面整形工 A=131㎡ 他41件
- ・ 農業用施設災害測量・設計業務委託
災害査定対象箇所（9箇所）の測量設計業務

《主な経費》

工事請負費	5,690 万円
測量・設計業務委託料	983 万円

《主な財源》

国支出金	1,442 万円
県支出金（県単補助）	288 万円
一般財源（税等）	4,943 万円

林道施設災害復旧事業	551 万円
-------------------	---------------

【農林水産業施設 担当部署：土木建築課
災害復旧費】

平成25年9月15～16日に発生した台風18号で被災した林道の復旧を行いました。

- ・ 林道粟柄～河内谷線災害復旧工事
L型擁壁 L=10.0m 他6件

《主な経費》

工事請負費	505 万円
測量・設計業務委託料	40 万円
需用費	6 万円

《主な財源》

県支出金	36 万円
一般財源（税等）	515 万円

治山施設災害復旧事業	1,902 万円
-------------------	-----------------

【農林水産業施設 担当部署：土木建築課
災害復旧費】

台風18号（平成25年9月15～16日に発生）で被災した人家等への二次災害を防止するため、隣接する山腹の復旧を行いました。

- ・ 早瀬区内山腹災害復旧工事 他6件
総施工延長 L= 82.9m
法面保護工 A=797.5㎡
擁壁工 L= 10.0m

《主な経費》

工事請負費	1,902 万円
-------	----------

《主な財源》

一般財源（税等）	1,902 万円
----------	----------

水産施設災害復旧事業	335 万円
-------------------	---------------

【農林水産業施設 担当課：農林水産課
災害復旧費】

台風18号による豪雨災害にて被災した水産施設（新庄淡水漁業生産組合施設）を復旧するため、災害復旧工事を実施しました。

《主な経費》

共同利用施設応急工事	199 万円
共同利用施設補修工事	126 万円

《主な財源》

一般財源（税等）	335 万円
----------	--------

道路橋梁災害復旧事業	1,253 万円
-------------------	-----------------

【公共土木施設 担当部署：土木建築課
災害復旧費】

台風18号（平成25年9月15～16日に発生）で被災した町道の復旧を行いました。

- ・ 丹生8号線崩土除去工事 他19件
 - 崩土除去工 14箇所
 - 法面復旧工 6箇所

《主な経費》
工事請負費 1,253 万円

《主な財源》
地方債 970 万円
一般財源（税等） 283 万円

河川災害復旧事業	3,465 万円
-----------------	-----------------

【公共土木施設 担当部署：土木建築課
災害復旧費】

台風18号（平成25年9月15～16日に発生）で被災した河川の復旧を行いました。

- ・ 山上区内河川復旧工事
 - 護岸復旧工 8.0m 他23件
 - 護岸復旧 2箇所
 - 土砂除去 22箇所

《主な経費》
工事請負費 3,465 万円

《主な財源》
地方債 2,410 万円
一般財源（税等） 1,055 万円

12 その他特別会

特別会計	
1	上下水道関係
①	簡易水道事業特別会計
②	集落排水処理事業特別会計
②	公共下水道事業特別会計
③	上水道事業特別会計
2	国民健康保険事業特別会計
3	後期高齢者医療事業特別会計
4	介護保険事業特別会計

簡易水道事業 特別会計

1 選定事業数 3 事業

2 事業費合計 1億1,128万円

3 歳出決算状況（比較増減額）

本年度	1億6,686万円
前年度	1億8,231万円
比較	△ 1,545万円

丹生・竹波簡易水道施設改良事業	1億0,490万円
【簡易水道事業費】 担当部署：上下水道課	

丹生・竹波簡易水道施設における新しい浄水施設を整備するため、丹生・竹波地区への送水管の布設（L=393.2m）並びに浄水場建屋の建築工事（A=282.08㎡）及び浄水場内の水道施設の工事を行いました。
また、平成26年度末に円滑に取水できるよう、水利権取得調査業務を行いました。

〈主な経費〉

工事請負費	10,057万円
委託料	415万円
基金積立金	16万円
手数料	2万円

〈主な財源〉

地方債	3,540万円
その他	6,950万円

東部簡易水道建設改良事業

318 万円

【簡易水道事業費】 担当部署：上下水道課

東部簡易水道施設における老朽化の著しい導水管・配水管の更新整備をするに当たり、腐食がはげしい金瀬橋の添架管の布設替を行いました。

導水管 φ 75HPPE L=17.1m
配水管 φ 100HPPE L=16.6m

《主な経費》

工事請負費 318 万円

《主な財源》

その他（簡易水道基金） 318 万円

菅浜簡易水道建設改良事業

320 万円

【簡易水道事業費】 担当部署：上下水道課

菅浜簡易水道施設給水区域内の宅地造成地（土木建築課施工）への配水管布設工事（L=36.75m）を行いました。

また、福井県が施工する原子力制圧道路工事で支障になる配水管等の布設替工事（H26年度施工）の設計業務を行いました。

《主な経費》

工事請負費 85 万円
委託料 235 万円

《主な財源》

その他（一般会計繰入） 320 万円

集落排水処理事業 特別会計

- 1 選定事業数 2 事業
- 2 事業費合計 1億1,065万円
- 3 歳出決算状況（比較増減額）

本年度	1億7,202万円
前年度	1億9,108万円
比較	△ 1,906万円

集落排水処理施設 〈管理費〉

7,906 万円

【集落排水処理事業費】担当部署：上下水道課

集落排水処理場及び管渠・マンホールポンプの維持管理を行うに当たり、老朽化の進んだ機器を適時交換・修理し、施設の長寿命化を図りました。今後も適切な維持管理を行い、経営の健全化を推進して行きます。

集落排水処理施設 11施設
 農業集落排水処理施設 8施設
 坂尻、竹浪、佐柿、山上、佐田、太田、北田、新庄
 漁業集落排水処理施設 3施設
 丹生、日向、菅浜

〈主な経費〉

需用費	2,029 万円
役務費	387 万円
委託料	4,811 万円
公課費	92 万円
その他	679 万円

〈主な財源〉

その他	801 万円
一般財源（使用料等）	7,105 万円

集落排水処理施設 〈建設費〉

3,159 万円

【集落排水処理事業費】担当部署：上下水道課

集落排水処理場への新規接続要望に伴い、汚水樹の設置ならびに管路の布設を行い、水洗化率の向上を図りました。また、原子力制圧道路工事の関係で支障となる汚水管の布設替設計業務を行いました。

- ・ 太田地区汚水管渠布設工事(美浜IC関連)
 ϕ 75 HPPE L=221.8m
- ・ マンホールポンプ設置 N=1箇所
- ・ 山上地区汚水管渠布設工事
 ϕ 150 VU L=21.8m
- ・ 菅浜地区宅地造成計画に伴う汚水管渠布設工事
 ϕ 50 VU L=47.0m

〈主な経費〉

委託料	898 万円
工事請負費	2,261 万円

〈主な財源〉

その他（分担金等）	3,159 万円
-----------	----------

公共下水道事業 特別会計

公共下水道 <管理費> 1億0,263 万円

【公共下水道事業 担当部署：上下水道課
特別会計】

浄化センター及び管渠・マンホールポンプ（39箇所）の維持管理を行いました。また、供用開始から18年が経過している処理施設の修繕、交換をして機器の長寿命化を図りましたが、今後も計画的に改修等を行い、経費削減に努めていきます。

1 選定事業数 2 事業

2 事業費合計 1億2,960 万円

3 歳出決算状況（比較増減額）

本年度	5億1,040 万円
前年度	4億8,374 万円
比較	2,666 万円

<<主な経費>>

需用費	2,228 万円
役務費	781 万円
委託料	4,437 万円
公課費	1,102 万円
その他	1,715 万円

<<主な財源>>

一般財源（使用料収入等）	10,263 万円
--------------	-----------

公共下水道 <建設費> 2,697 万円

【公共下水道事業費】 担当部署：上下水道課

佐野地区において管路施設機能強化のため、圧送管とマンホールポンプ設備を設置しました。また、除雪作業等に支障をきたさないようマンホール周辺の舗装補修を行いました。

下水道施設である公共汚水樹の設置を行い水洗化率の向上を図りました。

- ・佐野地区汚水管渠布設工事
φ75～100HPPE L=317.4m
マンホールポンプ設置 N=1箇所
- ・大藪地区汚水管渠布設工事
φ150VU L=17.0m
- ・公共汚水樹設置 N=2箇所

<<主な経費>>

需用費	7 万円
工事請負費	2,690 万円

<<主な財源>>

地方債（公共下水道事業債）	1,940 万円
その他（受益者負担金）	136 万円
その他（一般会計繰入金）	621 万円

水道事業会計

1 選定事業数 6 事業

2 事業費合計 5,175 万円

3 決算状況（比較増減額）

本年度	—	万円
前年度	—	万円
比較	—	万円

高区加圧ポンプ場等 仮設工事

3,797 万円

【上水道事業費】

担当部署： 上下水道課

台風18号の被害を受け流失した高区加圧ポンプ場周辺の送水管を仮設しました。
また、被災した高区ポンプ場（安江地係）を解体し復旧するために、仮設ポンプ場を別の場所（宮代地係）に設置しました。

高区送水管仮設工事
φ75 HPPE L=275.2m
仮設送水ポンプ場 一式

《主な経費》

工事請負費 2,729 万円
委託料 1,068 万円

《主な財源》

国庫補助金 1,364 万円
地方債 1,980 万円
一般財源（使用料等） 453 万円

和田地区配水管布設替 事業

259 万円

【上水道事業費】

担当部署： 上下水道課

和田地区配水管の老朽管を耐震管に布設替える工事の最終年度施工分としてφ100 HPPE管延長117mの布設替えを行いました。
これで和田地区の配水管すべての耐震化が完了しました。

・ 和田地区配水管延長 1371.7m

《主な経費》

工事請負費 259 万円

《主な財源》

地方債 250 万円
一般財源（使用料等） 9 万円

低区配水池耐震診断

545 万円

【上水道事業費】

担当部署： 上下水道課

施設の長寿命化を図るため、低区配水池（郷市地係）の耐震診断を行うとともに補強方法等について調査検討を行いました。

- ・ 第1池 PC造 V=1,700m³
- ・ 第2池 PC造 V=1,250m³

《主な経費》

委託料 545 万円

《主な財源》

企業債 540 万円
一般財源（使用料等） 5 万円

水道施設台帳整備	176 万円
-----------------	---------------

【上水道事業費】 担当部署： 上下水道課

地下に埋設されている導水管・送水管・配水管の埋設状況が分かるように、施工当時の工事完成図書等の資料を基に電子化した水道台帳を延長7.4km分を整備しました。

整備の状況
整備済延長7.4km（総延長76.8km）

《主な経費》
委託料 176 万円

《主な財源》
一般財源（使用料等） 176 万円

県営かんがい排水路工事支障管布設替工事	216 万円
----------------------------	---------------

【上水道事業費】 担当部署： 上下水道課

福井県が施行する農業用排水路工事で支障になる上水道の配水管等を布設替える工事を、郷市及び気山で施工しました。

- ・ 郷市φ75HPPE L=28.3m
- ・ 気山φ40PE L=54.0m

《主な経費》
工事請負費 216 万円

《主な財源》
工事負担金 194 万円
一般財源（使用料等） 22 万円

消火栓設置工事	182 万円
----------------	---------------

【上水道事業費】 担当部署： 上下水道課

松原区からの要望により区内の消防水利がない場所に配水管を延長し地下式消火栓1基を設置しました。

- ・ 地下式消火栓1基
- ・ φ75HPPE L=70.6m
- ・ φ50HPPE L=26.3m

《主な経費》
工事請負費 182 万円

《主な財源》
消火栓工事負担金 135 万円
一般財源（使用料等） 47 万円

国民健康保険事業 特別会計

- 1 選定事業数 — 事業
- 2 事業費合計 — 万円
- 3 歳出決算状況（比較増減額）

本年度	13億4,086万円
前年度	12億8,620万円
比較	5,466万円

国民健康保険事業

13億4,086万円

【国民健康保険 担当部署：住民環境課
事業特別会計】

療養諸費は、保険者が病院に支払う療養費です。被保険者が1～3割の保険料を負担しており、残りの7～9割分を「福井県国民健康保険団体連合会」を通じて各病院等に支払います。

高額療養費は、限度額適用認定証を発行している被保険者に対して適用されます。医療費の自己負担分が入院等で高額になった時に、所得に合わせた限度額を病院で支払いますが、それ以外の病院・薬局で支払った分が高額療養費として被保険者に支給されます。

後期高齢者支援金等は、後期高齢者医療制度ができた時に国保から老人の医療費を支給するようになったことから、「社会保険診療報酬支払基金」を通じて各都道府県の広域連合に支払われるものです。

総人口：10,197人（4/1現在）
被保険者数：2,572人

《主な経費》

療養諸費	8億 899 万円
高額療養費	1億1,968 万円
後期高齢者支援金等	1億4,030 万円
共同事業拠出金	1億4,910 万円

《主な財源》

国県支出金	3億3,526 万円
その他	7億8,678 万円
一般財源（保険税）	2億1,882 万円

後期高齢者医療事業 特別会計

- 1 選定事業数 — 事業
- 2 事業費合計 — 万円
- 3 歳出決算状況（比較増減額）

本年度	1億1,131万円
前年度	1億1,040万円
比較	91万円

後期高齢者医療広域連合 納付金

1億953万円

【後期高齢者医療事業 担当部署：住民環境課
特別会計】

後期高齢者医療制度では、介護保険と同様高齢者医療一人ひとりから保険料を賦課・徴収することとなっています。徴収業務は市町が行っているため徴収した保険料を広域連合に納付しています。

また、低所得者等に対する保険料軽減分相当額である保険基盤安定繰入金を県からの負担金と合わせて納付しています。

被保険者数：1,812人
障害該当者：28人
合計：1,840人

《主な経費》

後期高齢者医療広域連合納付金	1億953万円
----------------	---------

《主な財源》

その他（一般会計繰入金）	2,985万円
一般財源（医療保険料等）	7,968万円

介護保険事業 特別会計

保険給付費	10億1,794万円
-------	------------

【介護保険事業勘定】 担当部署：福祉課

要介護認定者の介護保険サービスにかかる費用について給付しました。

(利用延べ人数)

- 介護サービス 11,342人
- 介護予防サービス 2,869人
- 高額介護(予防)医療合算サービス 1,756人
- 特定入所者介護サービス 1,859人

1 選定事業数 — 事業

2 事業費合計 — 万円

3 歳出決算状況(比較増減額)

本年度	10億8,668万円
前年度	10億7,173万円
比較	1,495万円

《主な経費》

介護サービス等諸費	9億 549 万円
介護予防サービス等諸費	4,928 万円
高額介護(医療合算)サービス等	1,682 万円
特定入所者介護サービス等費	4,514 万円

《主な財源》

介護給付費国庫負担金	1億8,867 万円
財政調整交付金	7,436 万円
支払基金交付金	3億 36 万円
介護給付費県負担金	1億5,300 万円
その他(繰入金)	1億2,724 万円
一般財源(介護保険料等)	1億7,431 万円

介護給付費等適正化 事業

453 万円

【介護保険事業勘定】 担当部署：福祉課

介護保険サービスの給付において、真に必要なサービス以外の不用なサービスが提供されていないか、要介護認定調査やケアプラン及び国保連合会適正化帳票等により点検し、認定調査員やケアマネジャー及びサービス事業所に対して指導を実施しました。

【25年度実績】

- 要介護認定調査点検 700件
- ケアプラン点検 51件
- 国保連合会適正化帳票点検 960件

《主な経費》

適正化事務委託料 453 万円

《主な財源》

国庫補助金(地域支援事業交付金) 178 万円
 県補助金(地域支援事業交付金) 89 万円
 その他(一般会計繰入金) 89 万円
 一般財源(介護保険料等) 97 万円

介護予防支援事業

592 万円

【介護サービス勘定】 担当部署：福祉課

要支援1及び要支援2の認定者に対して介護予防サービス計画を策定しました。なお、要支援と要介護を行き来する利用者に対しては、支援の連続性を担保するために居宅介護支援事業者へ委託を行った上で、当該介護予防サービス計画の確認評価を実施しました。

【25年度実績】

- 介護予防サービス計画延べ件数 1,117件
 (内 委託：新規 15件、継続 268件)
- 委託事業者数 5件(町内 2件、町外 3件)

《主な経費》

介護予防サービス計画作成業務委託料 124 万円
 介護予防支援補助業務委託料 156 万円
 非常勤職員賃金(看護師1名) 188 万円

《主な財源》

介護予防サービス計画費収入 472 万円
 一般財源(一般会計繰入金) 120 万円

